消化器内科 外来担当医表

2026.9.15現在

	月	火	水	木	金	土
午前 9:00-12:00	早川	勝野	勝野	早川	山田	久木
午後 13:00-17:00	–	西田 非常勤 炎症性腸疾患 14日のみ	–	–	–	–

※西田医師は炎症性疾患(IBD)専門外来の担当です。

大野記念病院 医療連携通信「ホスピコ」
第2号（2026年9月15日発行）

表紙イラストコメント

医療は人々の生活を支えてくれて、
日々をつないでくれているなと感じます。
人と人とのやりとりが生まれ、
ゆるやかながらもじんわりとつながっていく。

人々の生活は、すれ違っているようで、
意外とあたたかいものなのかもしれません。
それは散歩のようだな、とも感じます。

各号ごとに、似ている人や物、場所が出てきます。
並べると、つながっているような、いないような……？

全体を通して、ゆるやかで、少しにぎやかに、
明るく楽しいものになればいいなと思っています。
散歩をしているような、のんびり風通しの良い
心地よい気持ちになっていただけたら幸いです。

Yuhi Masaki

お問い合わせ

TEL：06-6531-1815
FAX：06-6536-6390

社会医療法人 寿楽会
HOSPICO OHNO 大野記念病院

日本医療機能評価機構 認定第 JC2S38 号

経営デザイン認証 2025年2月-2028年2月 ランクアップ認証

ホームページ　Instagram　Facebook

ホスピコ

大野記念病院 医療連携通信

Vol. 02

その小さなサインを、見逃さない

AIと専門医が支える
より精緻な大腸内視鏡検査

HOSPICO DATA.

がんの早期発見・早期治療のために。
最新のAI技術と豊かな経験を持つ内視鏡専門医が互いの強みを発揮し、
精度の高い内視鏡診療を実現します。

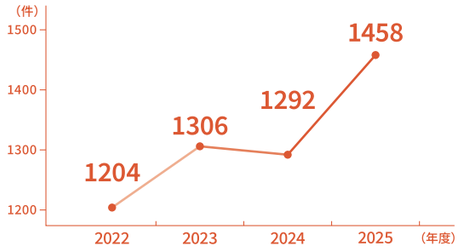
当院で実施する大腸内視鏡検査（下部内視鏡検査）では、**すべての患者様の検査にAI診断支援システムを導入**しています。大腸内視鏡検査は、大腸がんや大腸がんになる可能性のあるポリープを早期に発見し、治療へつなげるために極めて重要な検査です。一方で、患者さんにとっては前処置や検査そのものに負担を伴うため、**できる限り一度の検査で正確な診断を行うこと**が求められます。

AIは**患者様に一切の負担をかけることなく検査中の内視鏡画像をリアルタイムで解析**し、人の眼では認識しにくい病変の発見をサポートします。AIの活用により**病変の発見率向上や見逃しの低減**が期待されており、内視鏡診療の質を高める新たな技術となっています。

当院での実績としては**AIを導入することによってポリープ発見率が21%も上昇**しています（2026年7月時点）。ポリープが発見されたからといって**すべてのポリープの治療が必要なわけではなく、最終的な診断や治療方針の判断は経験豊富な内視鏡専門医がしっかりと行います。**そのため当院では**AIと専門医、それぞれの強みを活かすこと**で、従来の検査より質の高い検査を実現することができます。

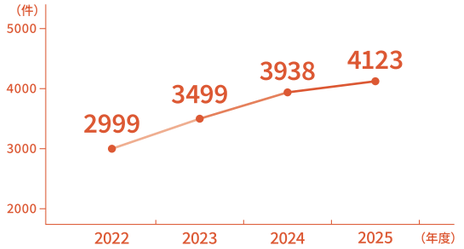
実績

下部消化管内視鏡検査数



2022年度 **1204件** → 2025年度 **1458件**

消化管内視鏡検査数



2022年度 **2999件** → 2025年度 **4123件**